

市議会だより



- 新春のごあいさつ・
- 第1回臨時会
- 第5回定例会
- 一般会計補正予算
- 一般質問

P2
P3
P4
P5～11

- 総務文教常任委員会
- 市民福祉常任委員会
- 産業建設常任委員会
- いきいき広場
- 議会の主な動き・
- 編集後記

P12
P13
P14
P15
P16

■4年ぶりに分列行進が行われた消防出初式



新春のごあいさつ



黒沢 龍己
仙北市議会議長

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

元日の能登半島地震は、多くの犠牲者を出す大規模な災害となつてしまいました。犠牲となられました方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

日頃から、議会運営には、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、7月の大雨や夏から秋にかけての猛暑に苦しめられました。新型コロナウイルスが5類となり、観光客や人々の移動、交流が活発となり、コロナ禍前に戻りつつあります。今年は、皆さまにとりまして、素晴らしい年になることを願っております。

さて、地方自治法によると、議会は住民を代表する機関とされ、議会を構成する議員は、公職選挙法に基づく選挙によって選ばれております。

地域には、町内会などの団体が存在しま

すが、住民を最も公平かつ公正に代表するのが議会とされています。

議員は、地域社会のために持ち前の力を尽くし、市民サービスの向上に力を注ぐ役割を担っています。

しかし、最近では、全国的な傾向として、議員のなり手不足が深刻な課題と言われるようになりました。

まちづくりに対し、より専門的な知識で、市の経営に参画する力量が問われています。例えば、地域社会の一点だけにとらわれず、全体像を見据えた多様な視点から、分析・検討できる能力も、その一つと考えております。

市民の皆さまの多種多様な多くの意見を市政に反映させることができるように、議員一人ひとりが資質の向上を図るとともに、市民に寄り添い、より身近な、開かれた議会となり、市民の皆さまの負託に答えられるよう、その責任を果たさなければなりません。

市民の皆さまからも、是非、本会議や、委員会を直接ご覧いただき、議会で議論された経過を踏まえ、自らの代表と忌憚のない意見交換を行うなど、積極的に議員と関わっていただき、皆さまのご意見をお聞かせいただきたいと思います。

結びに、本年も変わらぬご指導、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げますとともに、市民の皆さまのご健康とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年の挨拶いたします。

令和6年1月吉日

— 第1回臨時会 (1/15開催) — — 一般会計補正予算(第14号)を可決 —

ふるさと納税寄付金さらに3億円の増額を見込む！ (合計25億円)
補正額5億7,212万9千円 累計237億1,047万1千円

第1回臨時会が1月15日に開催されました。ふるさと納税寄付金の増額や物価高騰対策として住民税均等割りのみ課税される世帯と子育て世帯の経済的負担を軽減するための支援金などを盛り込んだ令和5年度一般会計補正予算(第14号)が審議され、全会一致で可決されました。

第1回臨時会 可決された主な議案 ◇令和5年度一般会計補正予算(第14号)

令和5年度一般会計補正予算(第14号)の主な事業

ふるさと仙北応援基金積立金	3億円	ふるさと納税寄付金を増額(合計25億円)
ふるさと納税ふるさと使事業費	1億5,461万円	ふるさと納税への返礼品や送料等の経費
物価高騰対応重点支援給付金支給事業費	9,013万円	住民税均等割りのみ課税される世帯に10万円 住民税非課税と均等割りのみ課税される世帯の 18歳以下の子ども一人当たり5万円支給
仙北市子育て世帯応援給付金支給事業費	2,737万円	子育て世帯のうち上記以外の住民税課税世帯に 2万円を支給

— 第5回 (11月) 定例会 —

本年度のふるさと納税の寄付額を22億円に増額補正する

一般会計補正額 17億9,464万5千円を可決 累計228億171万3千円に

令和5年 第5回定例会が11月30日から12月22日まで23日間の会期で開催され、ふるさと納税寄付金の増額や猛暑の被害を受けた農家の支援などを盛り込んだ令和5年度一般会計補正予算(第10号、第11号、第12号)や市民バスの指定管理者の指定など22件の議案すべてが可決・認定されました。

最終日には、物価高騰対策として住民税非課税世帯へ7万円を給付する事業費などを盛り込んだ一般会計補正予算(第13号)や国民健康保険税条例改正の追加提案と議員提出議案の意見書2件が提出され、すべて可決されました。

■第5回定例会で承認・可決された議案

- 専決処分の報告について(にしき園での補聴器紛失による損害賠償の報告)
- 専決処分の報告について(田町下丁での桜の枝落下による自動車損傷の損害賠償の報告)
- ◆専決処分の承認について(ふるさと納税増額に係る返礼品費用の増額などの一般会計補正予算(第10号)の承認)
- ◇仙北市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について【初日採決】
- ◇仙北市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について【初日採決】
- ◇仙北市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について【初日採決】
- ◇仙北市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について【初日採決】
- ◇令和5年度仙北市一般会計補正予算(第11号)【初日採決】
- ◇仙北市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◇令和5年度仙北市一般会計補正予算(第12号)
- ◇令和5年度仙北市集中管理特別会計補正予算(第1号)
- ◇令和5年度仙北市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- ◇令和5年度仙北市介護保険特別会計補正予算(第4号)
- ◇令和5年度仙北市生保内財産区特別会計補正予算(第3号)
- ◇令和5年度仙北市田沢財産区特別会計補正予算(第2号)
- ◇令和5年度仙北市温泉事業会計補正予算(第2号)
- ◇令和5年度仙北市水道事業会計補正予算(第1号)
- ◇令和5年度仙北市下水道事業会計補正予算(第2号)
- ◇公の施設の指定管理者の指定について(市民バス：向生保内線)
- ◇公の施設の指定管理者の指定について(市民バス：下延線及び八割線)
- ◇公の施設の指定管理者の指定について(仙北市活性化施設)
- ◇仙北市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について【最終日に追加】(出産前後の保険税軽減)
- ◇令和5年度仙北市一般会計補正予算(第13号)【最終日に追加】
- ◆議員提出議案 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書【最終日に追加】
- ◆議員提出議案 国民のいのちと健康を守るため、政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書【最終日に追加】

議決結果/議員賛否 令和5年 第5回 仙北市議会定例会(招集日:令和5年11月30日 最終日:12月22日)

凡例：賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席(議長は法律で定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	件名	会派及び氏名	議決月日	議決結果	議員															
					蒼生会					公明党		共産党		無会派						
					小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	青柳宗五郎	門脇晃幸	熊谷一夫	平岡裕子	高久昭二	荒木田俊一	田口寿宜	中村和彦	小田島広仁	西宮三春	澤田雅亮	
議案第128号	専決処分の承認について		11/30	承認	全会一致										欠					
議案第129号	仙北市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について		11/30	可決	全会一致										欠					
議案第130号	仙北市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について		11/30	可決	全会一致										欠					
議案第131号	仙北市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について		11/30	可決	全会一致										欠					
議案第132号	仙北市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について		11/30	可決	全会一致										欠					
議案第133号	令和5年度仙北市一般会計補正予算(第11号)		11/30	可決	全会一致										欠					
議案第134号	仙北市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について		12/22	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第136号	令和5年度仙北市一般会計補正予算(第12号)		12/22	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

猛暑による収入減と資材等の高騰に対する農業者への助成金支給を可決

令和5年度一般会計補正予算(第10号・第11号・第12号・第13号)の主な事業

ふるさと仙北応援基金積立金	10億円	ふるさと納税寄付金の増額見込みによる積立金の増額(合計22億円)
ふるさと納税ふるさと便事業費	5億9,084万円	ふるさと納税寄付金の増額見込みによる返礼品等の経費の増額
議員報酬等	58万円	県人事委員会の勧告による議員の期末手当の年間0.1ヶ月分引上げ
普通財産等管理費	71万円	指定避難所の下延・八割コミュニティセンターへのエアコン設置費用
総合行政情報システム管理費	664万円	市の情報システムの全国標準化等の基幹システム改修費用
戸籍事務・マイナンバー制度導入事業費	2,398万円	戸籍情報にふりがなを付けるシステム改修費用
介護保険特別会計繰出金	2,818万円	にしき園の利用者減少による収入減に対する一般会計からの繰出金
営農継続緊急支援事業費	2,439万円	猛暑の収入減や肥料等の高騰に対する農業者への助成金
農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金	340万円	豪雨で被災した農業者の再生産に向けた助成金
就業改善センター管理運営費	90万円	指定避難所の神代就業改善センターへのエアコン設置費用
有害鳥獣駆除事業費	65万円	鳥獣被害対策実施隊員(猟友会)に秋田県統一のユニホーム購入費用
一般教育振興総務費	2,219万円	令和6年度の教師用のデジタル教科書などの指導書の購入費用
車輛維持管理費	340万円	市長の公用車の購入費用(中古のミニバン)
電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金	2億6,915万円	物価高騰対策として住民税非課税世帯に7万円を給付
障害者施設・介護施設・保育所支援事業	1,122万円	障害者施設、介護施設、保育所への物価高騰支援

予算常任委員会、本会議での主な質疑

◆ふるさと納税寄付金の増額見込みによる返礼品等の経費増額補正について

質問 当初予算の12億円に対し、10億円も増額見込みとなり喜ばしいことであるが、本年10月1日から返礼品等に係る経費のルール改正があり、返礼品や送料、事務費などすべての経費を寄付額の50%以内にしなければならないが、10億円の増額に対し59%の経費を見込んでいるが、ルール違反にはならないのか。

答弁 返礼品を選ぶポータルサイトの委託料を最大の17%で算定しているが、すべて17%のサイトから選ぶとは考えにくい。他の経費と調整して、最終的な経費の清算は50%以内に抑えていく。

◆にしき園への一般会計からの繰出金について

質問 にしき園の利用者減少によるサービス収入減のため、一般会計からの繰出金とのことだが、最近の利用者数の推移を伺う。

答弁 今年度の4月から6月の平均入所率は、目標の95%を上回る96%を超える入所率だったが、7月の施設内の新型コロナのクラスター発生により、7月の入所率が90.3%、8月が89.9%に落ち込んでしまった。その後の9月から11月末までの平均入所率は94%まで回復してきているが、新型コロナのクラスターによる入所者の減少による収入減が大きい。

◆営農継続緊急支援事業費について

質問 猛暑による稲作の収入減や資材等の高騰による農業者への支援事業とのことだが、対象者、申請方法、助成金額、農家への周知方法について伺う。

答弁 令和6年産の主食用水稲作付面積が30a以上の市内農業者が対象である。JA等の生産出荷業者の代理申請方式とする。助成金額は飯米分の10aを除いた面積に10a当たり1,000円を2月末までに振り込みたい。今後、市のホームページ等で周知する。

◆農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金について

質問 7月の大雨で被災した農業者の再生産に向けた取り組みに対する支援とのことだが、概要について伺う。

答弁 大雨による農作物及び資機材の被害に対する県の補助事業である。水稲や大豆の種子購入及び花卉等の種苗購入の1/2を補助する。また、水没等による農業用機械の修繕費の1/3を補助する内容である。

庁舎機能の移転・集約 再度の説明会の意見は反映できるのか



蒼生会 武藤 義彦 議員

市長

2回目も丁寧に説明し 市民の不安解消と理解を得られるように努める



■どうなる旧角館総合病院の解体

庁舎機能の移転・集約について

質問 田沢湖・西木庁舎は15年後を目途に整理解体の方向性を示しているが、選択は次世代に委ねるとしている。田沢湖・西木庁舎及び30年後の上野庁舎解体費の概算額がどの程度になるか伺う。また、15年後の職員数についても伺う。

答弁 現時点での概算で、田沢湖庁舎が約1億円、西木庁舎、西木総合開発センタ1、西木第二庁舎の合計で1億1千万円、角館上野庁舎が約8千4百万円と見込んで

いる。

15年後の職員数は、将来人口や職員減少率から推計すると240人から250人程度であり、まだ、角館庁舎一つには収まらないと想定している。

質問 神代、田沢、松木内、上松木内の各出張所の中にも老朽化が進んでいる施設がある。公共施設等総合管理計画では、松木内出張所（公民館）は廃止とし、他施設への機能集約を検討するとしているが、今後各出張所の利用形態を含めてどのような方向性を示していくのか伺う。

答弁 松木内出張所のある松木内公民館は、耐用年数も過ぎていくことから、他の施設への機能移転を検討している。他の出張所も存続の方針だが、施設の老朽化に伴い、他の施設へ機能移転することになるが、出張機能はそれぞれの地区に維持していく。

質問 年明けに再度住民説明会を実施するが、市民の意見を計画に反映させることができるのか伺う。

答弁 1回目の住民説明会では、移転・集約後の田沢湖、西木庁舎の在り方について、具体的な説明が必要と感じ

た。生保内地区は、市民サービス窓口や公民館機能、健康を守る市立病院、市唯一の市民会館を核に、人口減少社会に対応した新たなまちづくりを市民と共に考えていくこと。

西木地区は、既存機能の活用や併用などにより、コンパクトな複合型の拠点にする。1月の市民説明会では、前述のほか、1回目の説明会でいただいた意見への対応を資料に掲載し、市民の不安を解消し、理解を得られるように努めたい。

クマ対策について

質問 今年度の熊の捕獲頭数、農作物等の被害状況について伺う。

答弁 11月末現在の熊の有害捕獲頭数は147頭、狩猟数は7頭である。有害捕獲頭数の地区別は、角館地区が19頭、西木地区が49頭、田沢湖地区が79頭で、昨年度の4倍である。農作物等への被害額は、約307万円であり、西木地区の栗園が大きな被害を受けた。

質問 鳥獣被害対策実施隊員等への報酬額は、他の自治体と比較してどうか。

答弁 報酬額については、市町村ではばらつきがあるが、年額2千円から2万7千円、日額2千円から1万円、時間額1,200円、出勤1回につき1千円から5千円である。

仙北市は、年額報酬は無く、箱わな設置1回1千円、見回り1回につき1千円、止め刺し1回2千円等で、玉川地区は遠距離につき、見回り2千円、止め刺し1回5千円である。

事務事業評価の廃止事業について

質問 今年度の評価で廃止とした防災行政無線及び山鳩館の通所支援事業は、高齢者の需要が高い事業であるが、代替施策は検討しているのか伺う。

答弁 防災行政無線は、令和7年度に廃止予定で、スマホでの情報伝達と戸別受信機での伝達を検討している。山鳩館は利用者減少で民間サービスに転換できることから廃止とする。空いている部屋は公民館的に利用可能にしたい。

(中村和彦記)



小田島広仁 議員

市民の考えを丁寧に聴き、市政に反映を！

市長 市民の皆様からの意見を真摯に受け止め市政を考える

インターナショナルスクール誘致事業について

質問 進捗状況は。

答弁 インターナショナルスクール誘致事業は2024年1月に国外4社から視察ツアー参加の意向がある。その際に田沢湖畔、高原等6箇所を候補物件としており、紹介予定となっている。また、インターナショナルスクール関係者へのインタビュー、モニター調査、専門メディア読者会員へのアンケートにより移動、交通ニーズの調査を行い、その結果に基づいた次年度の実証運行に向けた交通サービスの計画を策定する。

質問 視察ツアーの詳細と今後の進め方、手応えについて。

答弁 ツアーは1月22日〜24日の3日間で行い、物件候補も一緒に確認に行く。来年度以降はスクール本体だけでなく、ビジネスパートナーへのアプローチを行うための調査や実施計画を思案していく。仙北市の魅力を余すことなく伝えることができれば、成功する可能性は十分にあると感じているため、今後も全力で取り組んでいく。

市民のための地域公共交通について

質問 路線バスが廃止された田沢湖・角館間の交通についてどう考えるか。

答弁 羽後交通バス路線角館・田沢湖線には年間2千万円を超える運行費の補助をしていたが、乗降者数の減少、羽後交通の運転士確保が難しいことから廃止となった。しかし、移動への影響が及ぶ可能性も考えられることから、デマンド型タクシーの拡大や、通学バスの拡充を行った。今後も様々な可能性を検討し、最も使い勝手の良い公共交通を検討していく。

質問 田沢湖畔潟地区の田沢湖一周線が運行されているが、地域住民の「足」として不便である。交通体制を整える考えはあるか。

答弁 湖畔一周に時間を要してしまう現状ではあるが、観光客の利用も見られることから今後も費用面や利用者数、利便性を調査し、市民にとって利便性の高い公共交通の導入について検討していく。

県外、海外での市長公務について

質問 2023年11月の県外、海外公務でかかった費用はどのくらいか。

答弁 2023年11月は県外4回、海外3回で計7回の出張であり、旅費の合計額は約87万円となっている。

質問 来年度以降も台湾や海外での事業が増加するのか。

答弁 仙北市は、仙北市国際交流協会が早くから推進体制の整備を進め、他地域より一歩進んだ交流が実現できている。市長が参加することで交流事業が拡大するのであれ



■スマホで予約「行きたい所へ行ける」乗合交通「よぶのる角館」

次世代に向けた庁舎機能の移転・集約について

ば、来年度以降も訪問することを積極的に検討していく。

質問 現在の提案は、市民が分裂してしまうような不安を感じている。原案に〇か×かの二択ではなく、例えば議場と総務部は田沢湖庁舎に残し、極力コンパクトな上野庁舎を造り、旧角館病院は解体してしまうという、△的な考えを検討する余地はないのか。

答弁 田沢湖本庁舎の移転に対する不安の声は私も聞いている。ただ、田沢湖庁舎に本庁舎があつて、現状を見たとき、今後の仙北市の衰退が止まるかは甚だ疑問である。私は、現在の再々編案がベストと考え、確固たる決意を持って具体的に提案しているが、これに代わる提案があれば、数字的な根拠を示していただきたい。市の提案よりも優れているもの、また、そちらの方が正しいと思うものであれば変更もあり得る。

(澤田雅亮記)

住民税非課税世帯7万円給付体制は大丈夫か

公明党 熊谷一夫 議員



市長

同様の事業3万円給付を実施完了しているので問題ない

デジタル化推進で住民の利便性と行政の効率化を図ろう

質問 市民の申請主義を見直してデジタル化が進めば、利便性も効率化も飛躍的に向上する。特別定額給付金（一人一律10万円）支給に要した人員と経費、時間を伺う。今国会で決めた住民税非課税世帯7万円給付体制は大丈夫か。現行の「申請主義」の見解を伺う。

答弁 受付、書類審査、口座情報のシステム入力業務のために3か月間で市職員、会計年度任用職員併せて延べ1,270人、時間は、1万538時間、時間外手当と会計年度任用職員報酬、事務経費を含め1,589万円である。住民税非課税世帯7万円の給付は同様の事業3万円給付を実施完了しているので体制的には問題ない。申請には、多数の市民が公的給付支給等口座を登録ができていけばよいが、意思確認が必要であり、制度に沿って簡易に利用できる環境が整うまでは、市民からの申請手段、意思表示を残した事業実施が必要である。

質問 本市には、IT専門家、エンジニアは何人いるのか。

答弁 IT関係の国家資格合格職員が4人いる。市内事業者でIT専門家の人数は把握していないが、地域密着型DX推進企業「株式会社リベンリ秋田」には期待している。

質問 「デジタル田園都市国家構想」医療DX関連3事業の進捗状況と未来構想、交付金の財源見通しを伺う。

答弁 ①医療Maas事業は、令和6年1月末日車両納車、電子カルテ導入に向けた環境整備を12月中に終了。医師が遠隔地の患者宅まで往診に行く移動時間を短縮し診療時間を確保する。②PHR事業は、現在システム開発や機能実装作業中。令和6年2月中旬までにシステム開発が終了。発表公開は3月になる。市民の健康意識を喚起し健康寿命の延伸につなげる。③介護DX事業は、介護者装着のパワーアシストスーツ、入所者用の歩行ロボットを10台ずつ導入。12月中に見守りシス

テムや介護システムを導入。スタッフの操作研修を実施し年度内の運用開始を目指す。職員の腰痛症の解消、入所者の生きがい、満足度向上を図る。いずれも秋大医学部付属病院と連携して実施する。交付金は、導入時に交付され、維持管理や保守管理は一般財源となる。

DX時代の個性あるまちづくりを

質問 仙北市の独自性を生かしたまちづくりについての見解を伺う。

答弁 他市を訪問した際、観光資源や田沢の長芋など知名度の高さに驚く。観光や農業のさらなるブランド化に注力したい。農家民宿に泊まった都会の方々が感動して帰った姿を見て、地域や日常生活の



景品を増やす体制が望まれる健康ポイント事業

価値を共有して対外的に発信をしていきたい。

質問 DX推進が「幸福度ナンバーワンのみち」につながる事が、市民に理解されるように、市民へのアピール方法について伺う。

答弁 広報、HP、SNS、各種会合での声掛けに加えて、具体的な施策を通じて有益性を実感できるようにする。

健康ポイント事業の拡充を

質問 「健康せんぼくハッピー大作戦」の内容と参加数、効果等を伺う。

答弁 健康に関する活動への参加にポイントを付与し、10ポイント一口として景品に応募できる事業となっている。令和4年度は160人の参加。日頃からの運動の習慣化、特定検診受診率の向上、正しい健康知識を身に付けるなどの効果がある。

質問 市民へのPR施策について伺う。

答弁 市民の健康増進につながるように、事業の在り方を検討していく。

（平岡裕子記）



日本共産党 平岡 裕子 議員

生活応援灯油暖房費補助金の支給を

市長 国や県の動向を見ながら幅広く支援を行いたい

本庁舎機能移転事業と旧角館総合病院解体事業について

質問 ①工事費の見積額は、物価高騰の中で予算超過の可能性はないのか。②旧角館総合病院をなぜ早期に解体できなかったのか。また、アスベストの調査結果について伺う。③田沢湖・西木の庁舎利用案について。

答弁 ①角館上野庁舎として活用する管理棟改修費に約8億円を見込んでいます。専門家の意見を踏まえ、全体事業費の範囲内に収まるよう努めます。②新角館庁舎等の大規模事業と重なったこと、土壌汚染対策法に基づく調査の必要、公文書センターとしての利活用検討も重なり解体着工に至っていない。過去の調査で、機械室など病院棟一部にアスベスト使用の調査結果があり、屋内立ち入り禁止の処置をしている。③市民サービス窓口、公民館機能のほか、社会福祉協議会、老人クラブなどが入る計画となっている。

市民が安心して健康維持できるために

質問 ①医療Maas車両の配備時期は。対象患者の状況と人数、環境整備の進捗状況は。同乗する看護師の新たな資格や研修について問う。②生涯カルテがデジタルになるPHRの記録入力・管理について。個人情報安全性と器具の取得や管理について問う。③神代診療所の診療体制について。

答弁 ①令和6年1月末までに西明寺診療所に納入され、2月以降運用開始の予定である。対象患者は、西明寺診療所の利用患者のほか、西木地区の交通弱者も対象とした場合、独居老人350人が想定される。研修は看護師ではなく、市川先生が厚生労働省の定める研修を受講することになる。②原則として、利用者本人が入力・管理することになるが、他県の事例を参考に管理体制やマニュアル整備に努める。*PHRで活用する上腕式血圧計などは、管理番号を付与し管理することを想定している。③昨年6月に実施したアンケート結果を踏まえ、令和6年度から月・火曜

日の午後を休診する予定である。人件費削減により収支は改善される方向である。



名称が決まったせんぼくヘルスケア事業

仙北市生活応援灯油暖房費補助金支給について

質問 物価高騰対策として、住民税非課税世帯、均等割課税世帯への灯油暖房費補助金助成についての見解を伺う。

答弁 現状では均等割課税世帯までの対象範囲拡大は考えていないが、昨年度と同様に低所得者支援のための給付金等も活用し、国や県の動向を見ながら幅広く支援を行っていききたい。

市民の要望（陳情・請願）への進捗状況と今後の対応について

質問 ①市道羽根ヶ台線道路

改良工事について見解を伺う。②角館東前郷水道管未整備地区の工事着工について見解を伺う。

答弁 ①事業化実現に向けて、社会資本整備総合交付金などの財源確保に努める。②仙北市水道事業基本計画にも掲げており、事業化に向け水道加入意向調査、概算工事費や見込まれる料金収入を算定し、事業化を判断したい。

過去の事業経験を生かすために

質問 仙北市職員倫理条例は、職員にどれだけ浸透しているのか。

答弁 平成28年3月定例会において議員提出議案として制定された条例であり、法令遵守と綱紀粛正を徹底させる大変重要な条例で職員にも浸透していると認識する。市では、年3回倫理監督者である副市長名で通知し、市民の不信を招くような行為を防止する総合的な対策であることを全職員と認識を合わせたい。

(西宮三春記)

基盤整備後の農業をどうするのが見えない

荒木田俊一 議員



市長 農業に携わる方々と意見交換し支援策を考えたい

農林業の振興策について

質問 市内各地の基盤整備完了後の、県・国が推奨する高収益作物に対する市としての方向性や支援が見えないが、今後の農業をどう考えているのか。また、農地が整備され、農業機械のICT化が進む中で通信アンテナ等のインフラ整備について伺う。

答弁 基盤整備により、高収益に繋がる米以外の農業に期待している。農業に携わる方々と意見交換し、市の支援策を考えたい。ICT化のインフラ整備は、すでに着手している仙北平野土地改良区と協議し検討したい。

質問 地域の安全と林業振興に繋がる再造林に対する市の考え方を伺う。

答弁 森林整備は、国土や国民の命を守る事業と捉えており、今年度新たに、植栽及び下刈り事業に対し、国庫補助による再造林補助事業への嵩上げを実施した。

中小企業の振興策について

質問 人口減少に伴い、商店の減少に歯止めが無い状況に

あり、プレミアム商品券等の利用の大半は大型店であり、市税等への還流もない。もつと地元中小企業の振興策を考えるべきではないか。

答弁 ご指摘のとおり、商店等の減少対策となる有効な支援策に苦慮している。プレミアム商品券を含め、先進事例や事業者の意見に耳を傾け、商工会等関係団体と連携して支援策を検討したい。

質問 田沢湖黒沢工業団地だが、まだ見通しが無いのであれば、無料で貸すなど、企業に来ていただくための思い切った施策を打ち出してはどうか。

答弁 一日でも早く有効な活用を見出したいと考えている。もう少し時間をいただきたい。

観光産業の振興策について

質問 水沢地区、高原地区は保養所等が減少しており、ホテルも合併や、大手の資本も入り寂しい限りである。仙北市の観光産業に温泉事業は必要であると考え。源泉の購入単価の問題を含めて見解を伺う。

答弁 温泉事業は、温泉供給

設備の老朽化による修繕費等が増加し、一般会計からの繰入れで対処しているが、仙北市観光の目玉である水沢、高原地区の温泉事業は欠かせない。事業継続のために、温泉購入単価の引き下げ等の協議を継続する。

ふるさと納税寄付金増額補正の専決処分について

質問 ふるさと納税寄付金の増額見込みが10億円という高額な補正予算を安易に専決処分したが、本当に議会で提案するいとまがなかったのか。

答弁 9月定例会最終日の29日に提案するには、9月15日が事務処理のタイムリミットだったが、まだ補正額が曖昧で専決処分とした。段取りについて危機感が足りなかったと反省している。



■絨帳がないままの市民会館

市民会館の活用について

質問 市の文化の中心として、もつと積極的に自主事業を行うべきだ。また、市民会館の顔である駒草と龍が織り込まれた、絨帳のないステージは考えられないがどう思うか。

答弁 (教育長) 昨年度から市民企画を実施し、eスポーツやクラフト体験などで来館者は増加している。また、絨帳の設置費が4億5千万円であり、国や県の補助金情報も収集し、財源の確保を検討している。

職員の処分公表について

質問 10月から11月に職員の処分が相次いだ。担当する業務や発生原因を公表するべきではないか。また、再発防止対策はしているのか。

答弁 この度、懲戒処分の公表基準を策定した。事案の概要、処分内容、処分期日、所属、職名を報道機関に発表する。議員にも情報提供する。また、原因と対策を職員間で共有し再発防止に取り組んでいる。

(高橋輝彦 氏)



議員 幸 晃 脇 門 会 生 蒼

次世代に向けた庁舎機能の 移転・集約はどう進める

市長

市民の皆様に寄り添って、
理解をしていただけるように努力していく

2月定例会での議案の否決を受けて

質問 行財政改革は仙北市においても大きな課題であるが、その内容によって痛みが応分に伴ってくるということで、進めるにあたって非常にこの部分がネックになってしまい、時には改革が思いどおりに進まない、スピード感が鈍るという要因にもなっていると認識している。

先の議会で、「敬老祝い金の改正」「消防団退職家族慰労金の廃止」の議案が否決されたことを受け、他の改革案との兼ね合いで不公平感が残ったままと考えるがどうか。

また、行政や議会に対して、イメージダウンとなったのではないのか。

答 部局経営方針シートによる様々な取り組みや、仙北市の危機的な状況を立て直すための行財政改革の中核を成すものとして実施した事務事業評価結果としての観点から顧みると、一部事業は結果が反映され、一部事業は反映されないという結果となったことは当局として極めて残念な結果である。

長年継続して

いた事業の廃止

という重い決断

であるにもか

かわらず、市当局

内部での判定の

みであったこと

や、事業により

影響を受ける関

係者への聞き取りについては

注力していたが、議会に対す

る事前説明が不足していたこ

となど、否決となる要因も

あったのではないかという思

いもあり、今年度の事務事業

評価では、廃止判定候補事業

は全て外部評価にかけ、あら

ゆる分野の方々による客観的

な意見を取り入れつつ慎重に

判定を行った上で、議会に対

しても進捗を報告してきた。

事業単体としても廃止によ

る不利益や不公平感が大きく

ならないよう、対象となる

方々を支援する取り組みを別

の形で進めていく。

今後廃止判定となった事

業については、影響を受ける

関係者と十分な対話を行い、

不利益を受けて不公平感を感

じたりしないように支援を継

続していく。

移住・定住政策に力を入れ

ている中、イメージダウンは



■各部局の役割・使命・課題を示した部局経営方針シート

少なからず影響があるのではと危惧したが、市民の意見や提案を積極的に取り入れること、それを外部に誠意をもつて発信していくことで、市内外からの仙北市政に対する信頼感を回復し、より良い政策決定のための土台を築いていきたいと考えている。

次世代に向けた 庁舎機能移転・ 集約について

質問 庁舎機能移転・

集約は、理にかなっ

た方向性と受け止め

ているが、それぞれ

の地域の住民にとっ

ては、素直に賛同で

きない、そういう思

いの方も多くいるの

も事実である。既に

住民説明会を開いて

様々な意見をいただ



■どうなる次世代に向けた庁舎移転

賛同いただけない方々の理由をどう捉えているのか。
また、この方々の理解を得て、庁舎機能移転・集約を実現するには、どのような対策が必要と考えるのか。

答 市民説明会では、主に周知説明の徹底、財政への不安、災害時の対応、庁舎等の箱ものではなく市民サービスの充実をとの意見をいただき、より具体的な説明が必要との認識を持った。これらの意見に対し、さらに丁寧な説明を重ね、市民の御理解を得られるように努めていく。

(真崎寿浩記)



蒼生会 高橋輝彦 議員

白岩小学校閉校後の利活用はどうするのか

市長 地域の意向を十分に捉え具体的な検討を進めていきたい

来年度に向けたクマ被害対策を

質問 11月1日からの狩猟解禁後に7頭のクマ捕獲は、他市と比較して少ない。猟友会の高齢化もあるが、クマを捕獲した場合は慰労金を出さずなどして、もっと山に入って個体数を減らす施策ができないか。

答弁 県が7千円の慰労金を出すことになり、大館市と由利本荘市は上乘せするが、仙北市は検討させて欲しい。

質問 ハンター育成支援として狩猟免許取得の全額補助ができないか。また、来年度の新たなクマ人身被害対策は検討しているのか伺う。

答弁 (農林商工部長) 猟友会も高齢化しているので、狩猟免許を取得しやすいように、できるだけ補助を出せるよう検討していきたい。

新たな対策として、過去に出没のあった公園等に自動撮影カメラを設置し、早期の檻設置等の対応を行う。また、クマの檻を6基増設し、33基にした。

今冬の除雪体制について

質問 早朝に大量に積もった道路の雪は委託業者の判断で除雪できないか。また、市道の歩道除雪を県道の歩道並みに実施できないか伺う。

答弁 道路除雪は深夜から早朝に行く。安全性・効率性を考慮して、早朝から日中は出動しない。除雪作業の出動基準は10cm以上積もった時か積雪が見込まれる時に自動指示を出しており、県と同じ基準なので県道並みと想っている。

答弁 (建設部長) 歩道の除雪指令は車道の除雪と一緒にしている。車道が終わってから歩道を除雪する流れになっているので、時間差が発生する。



地域の意向を十分に捉えた利活用が検討される白岩小学校

子育て世帯が望む公園整備について

質問 以前の一般質問で、「遊具設置を存続する公園は、生保内公園、角館駅東公園、湯前山森林公園である。」と答弁しているが、残りの公園は遊具を撤去し、何も無くなることなのか。また、国土交通省の新たな支援制度「子どもまんなか公園づくり支援事業」を活用し、3公園だけでなく、子育て世帯が気軽に利用できる公園整備を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 遊具設置を存続するのは3公園である。他は遊具の維持管理が厳しく、遊具が使えない状態になれば撤去することになる。国の新たな支援事業は、都市公園整備の計画策定や不足エリアの分析等の整備支援に対する事業であり、仙北市の公園整備への活用は難しいが、子育て環境の充実を図る観点から、関係各課で検討していきたい。

事務事業評価に対する議会の関わり

質問 危機的な状況にある財政を立て直し、幸福度全国ナンバーワンにするために取り

組んでいる事務事業評価(見直し)について、議員の意見を求めることだが、今後は、議員の意見を事業評価に反映させていくということか。

答弁 市からの提案は、常にベストの思いで提案している。それに対して、議員から様々な意見をいただいたことを、市が再検討し、議員が指摘したとおりだと判断できれば、最終的に議員の意見を事務事業評価に反映させていくということである。

白岩小学校の利活用について

質問 白岩小学校閉校後の施設の利活用について、どのように進めていくのか伺う。

答弁 現段階での具体的な計画はない。今後、地域の意向を十分に捉え、利活用検討会などの組織を立ち上げ、地域の方々との話し合いを重ねていきたいと考えている。地域に学校が無くなることで活力が失われないよう、地域の活性化とあわせ、市も一緒に進めていきたいと考えている。

(小田島広仁記)

総務文教常任委員会

避難所としての使用頻度の高い施設へエアコンを設置！

11月定例会の総務文教常任委員会では、マイナンバーカードに関する条例改正や公の施設の指定管理者の指定及び避難所へのエアコン設置費などを盛り込んだ一般会計補正予算などについて審査されました。

令和5年度 総務部・教育委員会関係の一般会計補正予算 主な内容

普通財産等管理費	71万円	指定避難所の下延コミュニティセンターと八割コミュニティセンターへのエアコン設置費
総合行政情報システム管理費	664万円	地方公共団体情報システムの標準化を図るなどのシステム改修費
一般教育振興総務費	2,219万円	令和6年度の小学校の教師用の指導書（デジタル教科書含む）の購入費
車輛維持管理費	340万円	市長車の購入費（中古のミニバン）
武道館管理運営費	109万円	角館武道館のエアコン修繕費

ここが知りたい 議論のポイント

常任委員会での主な質疑

仙北市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について

質問 マイナンバーカードの利用範囲の拡大や情報連携などにより、市のさまざまな業務が煩雑になると思うが、ミスが起こらない態勢を事前に構築しておく必要があると思うがその考え方は。

答弁 法律の適用は令和6年の春以降であり、現在デジタル庁でミスに繋がらないよう仕組みの構築を行っている。そのガイドラインに従って事務を執行していきたい。

公の施設の指定管理者の指定について（たっこちゃんバス 向生保内線）

質問 地域公共交通座談会においてバスの小型化という意見があったと聞くが、向生保内線も対象となるのか。

答弁 今後、乗車人数等を調査し、必要に応じてバスの小型化やデマンドバス化を検討していきたい。

公の施設の指定管理者の指定について（スマイルバス 下延線、八割線）

質問 来年度から指定管理者が変わるようだが、これまでの指定管理者が辞退した理由は何なのか。

答弁 現在の指定管理者からは、運営上は赤字ではないが、運転手の確保やバスの管理等が要因で、辞退するとの申し出があった。

一般会計補正予算（第12号）関連

質問 スマイルバスは3台（1台減）での運用となるが、運行には問題は無いのか。また廃車とする1台については、再利用などは検討しないのか。

答弁 予備車としてはレンタカーでの対応するため3台のバスでの運行で問題は無い。廃車とするバスは、走行距離等、使用できる状態ではないのでこのまま廃車処分とする。

質問 普通財産管理費で、避難所にエアコンを設置する施設の選定について伺う。

答弁 直近での避難所としての使用頻度が高い施設を選定した。宮古市様からの寄付金（200万円）を充当し、下延コミュニティセンター及び八割コミュニティセンターにエアコンを設置したい。



■バスの小型化やデマンドバス化も視野に入れた検討に入るたっこちゃんバス

市民福祉常任委員会

介護保険特別会計 (にしき園) 一般会計から2,818万円繰入れ

11月定例会の市民福祉常任委員会では、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例改正、戸籍等へのふりがな表記のシステム改修費や国民健康保険と介護保険特別会計への繰入金などを盛り込んだ令和5年度一般会計補正予算などが審査されました。

令和5年度 市民福祉部関係の一般会計補正予算 主な内容

戸籍事務・マイナンバー制度導入事業費	2,398万円	戸籍法改正に伴うふりがな表記にかかるシステム改修費用
放課後児童対策事業費	705万円	雇用保険料改定による会計年度任用職員の共済費負担分など
電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金	2億6,915万円	物価高騰対策として住民税非課税世帯への7万円支給費用
障害者支援施設等物価高騰対策事業費	61万円	障害者支援施設への物価高騰に対する助成金
介護保険施設等物価高騰対策事業費	950万円	介護保険施設への物価高騰に対する助成金
保育所等給食費価格高騰対策事業費	110万円	認定こども園を運営する(福)はなさき仙北への食材料助成金
災害救援費	78万円	7月大雨被害に対する県からの義援金の配分(床上浸水8軒、床下浸水49軒)
国民健康保険特別会計事業勘定繰入金	60万円	国民健康保険被保険者の出産育児一時金の増額費用(6人分)
介護保険特別会計繰入金	2,818万円	にしき園での利用者減少による収入減に対する繰入金

令和5年度仙北市介護保険特別会計補正予算(第4号)の質疑から

にしき園での一般会計からの繰入金について

質問 繰入金の累計が昨年度より約1億円も増えた理由は。

答弁 人事異動で職員1名が増員し介護員2名が採用となり、昨年度より人件費が増えている。また、新型コロナのクラスターにより収入が減少した。

質問 入所率はどうなっているか。

答弁 当初予算は入所率を95%で計画していた。新型コロナの夏のクラスターにより入所率が一時89%まで下がったが、現在は94%まで回復してきている。

意見 上半期は大変苦しい状況だが、新たに購入したパワーアシストスーツやロボット歩行者も活用し、職員の負担軽減を図りながら、下半期の入所率向上に期待している。



職員員の腰の負担軽減のため導入されたパワーアシストスーツ

ここが知りたい 議論のポイント

一般会計補正予算の主な質疑

戸籍法改正に伴うふりがな表記のシステム改修について

質問 システム委託先で、氏名のふりがなの入力に間違いがあった場合の対応はどうするのか。

答弁 戸籍等のふりがなは、住基ネットに記載のあるデータで入力する。間違いがあった場合は修正が必要だが、具体的な対応策は国からの指示待ちである。

質問 戸籍法改正による国からの指示にも関

国民健康保険特別会計への繰入金について

答弁 総務省で予め想定事業費の算定を行い、人口規模に合わせて各自自治体への補助金を配分しているが、実際の経費が国の想定を上回っているため、一般財源からの負担が発生している。

国民健康保険特別会計への繰入金について

質問 出産育児一時金の増額との説明だが、当初見込みより出産が増えたということか。

答弁 出産育児一時金の額が、令和5年の4月より42万円から50万円に引上げられた。法改正が3月末であり、当初予算に反映できなかったことによる差額分と見込みから1人増分である。

産業建設常任委員会

猛暑の収入減や肥料等の高騰に対する農家への助成金 〔10a当たり1,000円支給〕

11月定例会の産業建設常任委員会では、令和5年度一般会計補正予算や温泉事業会計・水道事業会計・下水道事業会計補正予算及び公の施設の指定管理者の指定について審査されました。

令和5年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計補正予算 主な内容

営農継続緊急支援事業費	2,439万円	資材等の高騰によるコスト高や猛暑による被害を受けた農家への次期作生産の取り組みに対する助成金
農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金	340万円	7月の大雨で被災した農業者の再生産に向けた取り組みに対する助成金
就業改善センター管理運営費	90万円	指定避難所へのエアコンの設置費用
再造林支援事業費補助金	123万円	伐採後の再造林支援や植栽後の下刈りを支援する為の補助金
企業立地奨励金	17万円	産業の振興及び雇用機会の拡大を図る事を目的とする奨励金
道路橋梁総務費	△803万円	職員1名減による減額
河原田家公開管理事業費	△86万円	会計年度任用職員1名の年度途中退職による減額

ここが知りたい 議論のポイント

一般会計補正予算の主な質疑

今夏の猛暑による収入減や肥料等の高騰による農家支援について

【説明】令和5年度において、主食用水稲作付面積30a以上で、飯米分10aを差し引いた作付面積に、10aあたり1,000円を支援、対象者878人、面積は約2,420haと積算、ほか事務的経費である。

【質問】耕作面積が30a以上の人が市内で78人ということか。被害を受けた人ではないのか。また、5aなど半端に残った場合はどうなるのか。

【答弁】本事業は被災農家への支援ではないので、30a以上の作付面積があれば該当となる。半端分は1aあたりで計算し支給する。

農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金について

【説明】7月の大雨で被災した農業者の再生産に向けた取り組みへの助成金である。

【質問】事業の概要と予算の内訳について伺う。

【答弁】7月の豪雨により被災した農家の支援である。ネギ7haの種苗購入費125万

円、ダリア50aの種苗購入費175万円、被害を受けて追加で防除が必要となった部分の補助率1/2にあたる追加防除費25万円の補助、水没による機械修繕に係る補助率1/3にあたる15万円の補助である。

神代就業改善センターへのエアコン設置について

【説明】神代就業改善センターは、災害時の避難所として活用され、7月の大雨の際も避難者の受け入れがあった。総合防災課と協議のうえ、神代就業改善センターの避難所としての機能を改善するため、エアコンを設置したい。市民生活の安全・安心の向上を図るものであり、加えて近年の猛暑の状況を鑑み、通常の利用においても、施設利用者の熱中症等の事故防止の面でも活用されるものと考えている。

【質問】設置する場所、部屋の広さ、エアコンの仕様、価格は適正か。

【答弁】場所は、1階和室、広さは60畳ほど、2台取り付ける予定である。普通程度の暖房機能はある、暖房設備は別でも配備している。クーラーを主とした利用になる。価格は、工事請負込みで、89万9千円である。日頃より補修等の管理をお願いしている業者に参考で見積りをお願いした。また、予算が認められれば、契約事務の際には、複数社に見積りを依頼する。

スポーツ少年団
FC角館セレジェスタJr.

チームスローガン
「楽しく！勝つ!!」



第35回 TOYOTA ジュニアカップ U11 少年サッカー決勝大会で見事第3位の成績で東北大会へ

秋田県新人戦第3位で東北大会出場

1987年設立のサッカーチームで、現在の団員は、6年生4人、5年生7人、4年生9人、3年生11人、2年生2人、1年生3人の総勢36人です。角館、神代、生保内、白岩、中仙、花館、横手北の小学校からサッカー好きが集まり、週に3〜4日練習しております。

11月下旬に開催された大会は、5年生以下の秋田県新人戦でもあり、地区予選を勝ち抜いた32チームのトーナメント戦で争われました。1回戦は順調に勝ち、2回戦ではPK戦で勝利をもち取り、準々決勝は快勝しました。準決勝で、優勝したブラウブリッツ秋田に敗れましたが、3位決定戦では見事に2対1で勝利し、初の第3位となりました。

秋田県の第3代表として、3月に開催される「宮城県サッカーフェスティバル」(東北6県の代表が参加する大会)への出場が決まりました。

ゲームキャプテン

青山 航晟(角館小5年)

新人チームでの初めての全県大会で強いチームばかりなので、1試合ずつ、いつも通りの「繋ぐサッカー」を心掛け全力でプレーした。3位になることができ嬉しいが、優勝できなくて残念でもある。3月の大会は、よりハードな試合になると思うが、いつも通りのプレーをし、優勝を目指して頑張りたい！

チーム代表 柴田 和哉

秋田県新人戦では、セレジェスタらしいパスを繋いだ丁寧なサッカーでゲームを作り、全県第3位になってよかった。3月の大会では他県のチームの力を感じて、良い経験を積み、楽しみながら思いっきりやって欲しい。

監督 菅原 大末(ひろみ)

今大会の登録メンバー

背番号	位置	選手名	学年	学校名
1	GK/FP	渡邊 和己	5	花館
2	FP	千葉 玄士	5	生保内
3	FP	高橋 直生	4	太田南
4	FP	辻 快都	4	西明寺
5	FP	渡辺 楓斗	4	角館
6	FP	田口 旺典	4	生保内
7	FP	青山 航晟	5	角館
8	FP	巖生 晟生	5	横手北
9	FP	田口 徳真	5	角館
10	FP	柴田 陽向	5	生保内
11	FP	米澤 史紋	4	角館
12	FP/GK	渡部 大翔	5	角館
13	FP	石郷岡 廉	4	角館
14	FP	橋 海剛	4	角館
15	FP	田口由騎人	4	生保内
16	FP	高橋 柁人	4	豊成

柴田優星さん(生保内中学校2年)



「日台国際野球大会」東北選抜チームで大活躍

小学校1年生から田沢湖イーグルススポーツ少年団で野球を始め、6年生の時には東北楽天ゴールデンイーグルスジュニアチームに選ばれ、主将としてチームをけん引し、プロ野球12チームのジュニアチームが参加した「NPBジュニアトーナメント」で準優勝に貢献しました。生保内中学校に入学してからは、硬式野球をやりたいということで、秋田北里トルシニアで捕手としてプレーをしています。

12月27日〜31日の日程で台湾・嘉義市を会場に開催された「第19回日台国際野球大会」に東北選抜チームの一員として出場しました。この大会は秋季新人東北大会ベスト8入りしたチームから2名ずつ選ばれ「東北選抜チーム」が結成されるのですが、チームが敗れたものの、ただ一人だけ指導者推薦で選ばれました。日本からは東北選抜をはじめとした10チームが参加し、台湾の10チームと対戦。東北選抜は7勝2敗1分けて20チー

ム中4位の好成績で、4番打者として9打数4安打の大活躍でした。



東北選抜チーム4番の力強いバッティングフォーム

◆大活躍した優星君にお話を聞いてみました。

Q. 初めての国際大会はどうでしたか？
「とても緊張したが、試合を楽しむことができた。高いレベルを経験できたことが自分にとって大きな財産になると思う。」

Q. イメージしていたプレーができましたか？
「4番打者として、チャンスではしっかり打点をあげ、捕手としても盗塁を阻止することでき、チームに貢献できたと思う。」

Q. これからの目標は？
「今は体作りをしっかりやって、高校では甲子園出場、そしてプロ野球選手を目指します！」

Q. 最後に、いつも見守ってくれているお母さんへ一言！
「いつもサポートしてくれて本当にありがと〜大好きです!!」

(小田島広仁記)

仙北市議会の主な動き 10月～12月

月	日	会議等名	欠席議員
10	3	国道整備促進期成同盟会合同要望活動	
	11	行政視察受け入れ：愛知県岡崎市議会	
		秋田県後期高齢者医療広域連合議会定例会	
	12	行政視察受け入れ：福岡県北九州市議会	
	13	議会広報編集特別委員会	
	16	議会改革推進協議会	2名
	17	行政視察受け入れ：埼玉県春日部市議会	
	19	行政視察受け入れ：埼玉県春日部市議会	
		火山砂防フォーラム：八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会議員研修会	
	20	議会広報編集特別委員会	1名
		行政視察受け入れ：兵庫県丹波篠山市議会	
	23	行政視察受け入れ：福島県喜多方市議会	
	26	議会改革推進協議会	1名
28	第16回仙北市産業祭	1名	
31	大仙市・仙北市・美郷町 議会議員交流会		
11	2	秋田県市議会議員研修会	3名
	9	行政視察受け入れ：和歌山県橋本市議会	
		全国市議会議長会第233回理事会・第115回評議員会合同会議	
	13	市民福祉常任委員会協議会	
		行政視察受け入れ：山形県小国町議会 秋田県森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡協議会総会	
	14	産業建設常任委員会協議会	
		総務文教常任委員会協議会	1名
	15	仙北市・雫石町 議会議員交流会	3名
	16	議員全員協議会	1名
	21	秋田県市議会議長会臨時会	
	22	会派代表者会議	
議会運営委員会			
28	大曲仙北広域市町村圏組合議会定例会		
30	12月定例会 ～ 12月22日【市議会だより P3～P4 参照】	のべ3名	
12	11	議会広報編集特別委員会	

お知らせ 市議会 おでかけ

仙北市議会では、市民の皆さまと議員との意見交換会「おでかけ市議会」を再開しております。議会から皆さまに意見交換会をお願いする場もございますが、市民の皆さまがお申し込みを行う場合は、以下の要領をご確認のうえ、議会事務局にご連絡ください。お待ちしております。

- (1)対象…市内在住又は在勤の方々で構成する10人以上のグループとさせていただきます。
- (2)開催場所…ご希望の場所で開催いたします。
- (3)テーマ選定…意見交換するテーマを決めていただきます。(例：やりたいこと、人口減少、まちづくり、財政、農林業振興、観光、企業誘致、病院、教育、クマ・イノシシ対策、環境、福祉関係、議会など)
- (4)参加議員…選定されたテーマにより所管する委員会の議員がおでかけして参加します。

●お申込み先…仙北市議会事務局 TEL0187-43-0334

編集後記

令和6年の始まりは、大震災の発生、そして航空機事故の発生でした。元日、16時10分、石川能登地方を襲った巨大地震は多くの犠牲者を伴い、大規模な被害が発生してしまいました。

犠牲となられました方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災されました方々にお見舞いを申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

「災害に強い地域づくり」は、どの自治体においても最優先の課題です。「強靱な地域づくり」と「共助の地域づくり」とが口で言うのは簡単ですが、仙北市においては、更にきめ細やかな地域の実情に沿った取り組みが必要となってくるのではないかと考えます。

急峻な地形の仙北市においては、道路の切断やライラインの途絶等により、被害は増大してまいります。

【備えあれば憂いなし】危機管理体制は更にきめ細やかに構築して安心な安全な災害に強い地域づくりのため、がんばってまいります。

忌憚のない意見をいただきますよう宜しくお願いいたします。

(真崎寿浩 記)